

令和 6 年度

第 5 回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和6年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年8月26日(月)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時35分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	重 清 由 充
委 員	森 本 匡 史
委 員	細 川 敬 雄
委 員	森 文 彦
委 員	曾 川 京 子

4 会議出席者

教 育 部 長	小 松 隆
教 育 次 長	三 宅 剛
教育次長兼教育総務課長	酒 卷 達 也
学 校 教 育 課 長	山 田 繁 美
社 会 教 育 課 長	藤 原 洋 文
学校給食センター所長	井 内 徹
(書記) 教育総務課課長補佐	笠 井 まゆみ

5 議題

- (1) 令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (2) 令和6年度阿波市一般会計補正予算(第5号)教育委員会所管部分について
- (3) 準要保護の認定について
- (4) 阿波市通学用かばん納入業者選定委員会設置要綱の制定について
(追加議案)

会議の概要は、次のとおり。

【高田教育長】 定例会を開催する旨を告げる。

前回会議録の承認について

【高田教育長】 前回会議録の承認について何かご意見ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 それでは承認いたします。

教育長の報告について

【高田教育長】 7月30日から8月26日までの、主だった教育委員会行事について報告。
何かご質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 報告を終わり、議事に進みたいと思います。

議案第1号 「令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」 事務局より説明をお願いします。

【小松教育部長】 議案第1号「令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」説明。

【高田教育長】 事前に送らせていただいていると思います。

毎年、この報告書につきまして、ご質問またはご意見等をいただいております。

順番にお願いしてもよろしいでしょうか。どうぞよろしくお願いします。

〈質 疑〉

【重清委員】

お聞きしたいことと感想を述べさせていただきたいと思います。今、部長さんからご説明をいただいたように、私自身も、A評価が昨年度よりかなり減っているということが気になりましたのと、総合評価も2が増えているので、さほど見た限りでは変わりがないように思うのに厳しい評価がなされているので、気になりました。少しずつ見させていただきたいと思います。最初10ページですが、これはB評価からA評価と昨年度から上がっております。昨年は1年で2名のALTの先生が帰国され、いろいろな、諸事情があって難しいところもあったようですが、現在はどうか。お尋ねします。

【山田学校教育課長】

5年おられた先生が帰国ではなく、徳島市内で勤務されることになって、新しく、1名がこられました。他の方は3年目、2年目の方で、今のところ問題なく勤務していただいています。今おられる先生方にも、最長5年まで勤務していただいて、子どもたちとの繋がりを、深めていただきたいと思います。

【重清委員】

ありがとうございます。事業の評価としてもBからAになって十分成果が上がっているようで、学校訪問で授業を見せていただくと、子どもたちは生き生きと楽しそうに、ALT、英語指導講師とともに活気のある授業が行われています。また、学力向上推進講師についての具体施策や事業実績状況があればと思います。阿波市独自の取り組みで大変成果が上がっておりますので、英語講師とALTのように、学力向上推進員の方についても、取り組み状況があればわかりやすいかと思います。

続きまして12ページ。各学校において毎年、体力向上計画を立てて実施されたり、運動習慣の定着や健康増進や体力向上を図るため、体力向上指導員を派遣したり、栄養教諭や養護教諭が食生活の大切さを子ども達や保護者の方にも伝えてくださっております。素晴らしい取り組みが16ページでは、学校給食において食育の大切さを、69ページでは、基本的生活習慣を身につける教育活動が行われていますが、達成度において総合評価が12ページで、2というのは、肥満度割合が思わしくないためでしょうか。家庭の協力が重要であると思います。時間をかけて、こうした取り組みを続けていただきたいと思います。どうでしょうか。

【山田学校教育課長】

肥満度の上昇があるので、今年度は、専門家を活用した啓発や指導を通じて、子どもたちのよりよい生活習慣を考えるきっかけとなる、外遊び推進事業を取り入れていきたいと思っています。外遊びを通じて、肥満傾向の改善につなげたり、早寝早起き朝ご飯の規則正しい生活リズムを身につけていくことで、子どもたちの健康をサポートしていけたらと思っています。

【重清委員】

ご家族の協力があって推進していただけることだと思いますので、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

続きまして13ページ、これは感想ですが、ICT活用に関しては、教育研究所研究員とICT支援員の先生方を各学校に派遣し、授業提案や、操作支援などの授業支援、様々なサポートをしてくださっております。不具合が生じてもすぐ支援員の先生が駆けつけ、サポートし、使えば使うほど不具合も減り、スムーズに授業で活用できているの

で、今後も、ICT支援員の先生がいらっしゃるので安心して、積極的にICTを活用していただき、先生方が授業内容にICTを効果的に活用し、深みのあるわかる授業ができるようになればと思っております。続きまして17ページ。これも感想です。

学力向上推進講師、英語指導講師、ICT支援員の先生方は阿波市が独自に配置して下さっております。各小中に、電子黒板機能付プロジェクターも設置され、TTの先生方も手厚く、より楽しくわかる授業に取り組まれています。

すべての教職員が授業の進め方の研修を深められ、ICTを活用した授業の推進に努めていただきたいと思います。

18ページですが、これはちょっとお尋ねですが、AからBに下がっております。事業の評価で有効性が4から3になり、総合評価が昨年のAからBになっておりますが、内容的に具体施策実績状況方針などは変わっていないように思うのですが、下がっているのはどうしてでしょうか。

【山田学校教育課長】

読書活動の必要性が増加してたりするのは、昨年と変わらないんですが、有効性について、概ね寄与するようになったことで、総合評価がBになっているのかと思われます。でも家庭での読書活動や、学校での読書活動や家庭における、読書習慣の大切さの啓発はできているのではないかと思っております。

【重清委員】

ありがとうございます。続きまして23ページもお尋ねです。

令和5年度よりスクールカウンセラーが1名から3名に増え、月4回であったカウンセリングが月10回に、大学院生のボランティアも3名から8名増えております。このボランティアは毎年人数の変動があるんですよね。入級者も高校生1名、中学生も11名から19名に増え、相談者も11名から18名に増えております。しっかり対応して下さっているように思います。委員会の評価でICTを活用しての支援に取り組むようありますが、こちらの方ではICT活用の支援はどのようにされておりますでしょうか。

【山田学校教育課長】

ICTを活用して、不登校の児童とやりとりをしております。

【重清委員】

学校と同じように、欠席している子どもと繋いで授業に参加するような形で、同じような繋ぎ方でされているのですね。ありがとうございます。

次が27ページ。これもAからBに下がっております。

トータルサポート事業を活用し支援しているように思うんですけども、事業評価の必要性が下がって、総合ではAからBになっております。

【山田学校教育課長】

サポートを受けている小学生3名は人数が変わらなかったんですが、そのまま必要性は横ばいになっておりまして、有効性も十分寄与していて、成果が上がっていると思っておりますが、今年度以降も、日本語指導が必要な児童生徒の増加は予想されているため、充実する必要があると思っております。

【重清委員】

そうですね。増加から横ばいになり、Bになったということで、これから増加していく傾向でも、十二分にサポートができているということを聞きしましたので、安心して、増加しても大丈夫ということがわかりました。ありがとうございました。

続きまして35ページ。これもAからBに下がっております。

質問と感想ですけども、事業の評価で経済・効率性、目標達成度が十分できているから、できているになり、総合評価がAからBになっております。

アンケート結果も十分満足されているように思いますが、事業実績状況、アンケート結果はNO.37参照とあり、ここは昨年申し上げたのが、早速、表記されておりますので大変わかりやすくなってありがたいと思いました。これもやっぱり厳しく評価をされたのですね。

【藤原社会教育課長】

そうです。今回、社会教育課関係の事業につきまして、令和3年度、4年度の事業と比較しましても、令和5年度、同じような高評価をいただいているということで、あえて高い評価をせずに、横ばい、概ねできている、寄与するできているという評価をさせていただきました。担当者との話の中でも、参加者からは高評価いただいているということも聞いておりますので、その中で、あと行財政改革の中でもコストダウンとかいろいろちょっと言われてる部分ありますのでこれらを課題として、6年度以降事業を展開していこうかなというのをちょっと考えております。

【重清委員】

はい。ありがとうございます。次に37ページ。

令和4年は、ケーブルテレビの取材、放送、広報記事、掲載がありましたが、令和5年度は広報のみということで、講座の数も4から2、この講座はどのように決められておりますでしょうか。方針に学習成果発表の機会の確保に努めるとありますが、発表の場というのは、こういったところになるのでしょうか。

【藤原社会教育課長】

文化祭の出展に関して、子どもたちが参加している講座への出展依頼が今回はなかったと聞いております。

【重清委員】

オファーがなかったからですね。

38 ページですが、阿波町の図書館は、昨年でしたでしょうか。

改修に1年かかったんですね。

【藤原社会教育課長】

昨年度に大規模改修工事を行っております。

【重清委員】

阿波町の図書館は使えなかったですね。

【藤原社会教育課長】

そうですね。

【重清委員】

だから市場の方が、使用人数が増えているのですね。これはこういったような修繕だったんですか。

【藤原社会教育課長】

外壁の改修とか、床の改修、劣化部分についての改修工事を行っております。

【重清委員】

ありがとうございます。

40 ページですが、Bに下がっています。これもあまり変わらないようなんですが、なぜBになったのでしょうか。

【藤原社会教育課長】

こちら先ほどのNo.24 と一緒に、令和3、4年度と比較しても評価自体としては、そんなに変わらなかったのと、高評価の中なんですけども、それから伸びてということではなかったんで、あえてワンランク下げて、そこからまたA評価まで上げるように展開していこうかなと思っております。

【重清委員】

常に厳しくしているということですね。

【藤原社会教育課長】

はい。

【重清委員】

ありがとうございます。41 ページも同じような感じでしょうか。

利用者数が快適に過ごせるように公民館、図書館の改修工事を行われています。

事業の評価、総合評価がAからBになっていますが、やっぱり効率性が3から2ということで、必要性も4から3、これ効率性が2っていうのは何なんでしょうか。

【藤原社会教育課長】

体育施設も後でもあるんですけども、やはり維持管理というところにつきましては、なかなかコストの削減というのが難しいところがありますので、その点につきましてはちょっと、今物価高でコストも上がっているとの状況でもありますので、ここは厳しくさせていただきました。

【重清委員】

ありがとうございます。46 ページ。

実績状況で、認定員からコーチングアシスタントへの移行、移行手段、手続きは行われているのでしょうか。効率性が3から2になっているというのは、個人個人が手続きをするので、把握ができないっていう状況でしょうか。

【藤原社会教育課長】

そうですね。今回 NO. 68 にちょっと関連しているのがあるのですが、委員さんおっしゃるようにオンラインでの講習になりましたので、担当としては、何人受講したかってのはちょっと把握できてないということで、聞いております。

【重清委員】

それでこういう評価になったんですね。

【藤原社会教育課長】

そうです。

【重清委員】

48 ページ。昨年、どこで実施されたのかお尋ねしておりましたが、早速具体的に実績状況をお示しいただきましたので大変わかりやすくなりました。ありがとうございます。しっかり取り組まれているように思うんですけども、これも効率性が2になっているのが、気になりました。

【藤原社会教育課長】

イベント系なんですけれども、このイベントの開催に当たりましてやはり人の配置とか安全面とかを考えますと、人の配置とか、準備段階では、作業の効率をなかなか省けない部分もありまして、そこが評価としては、事務の効率についてはあまり寄与してないところで評価をさせていただいたんですけれども。イベント関係については、コストの削減とかについてはちょっと厳しいかなというふうに思っております。

【重清委員】

そうですね。大切なのは安全面ですので、ちょっとコストを削減して何かあった場合は大変ですので、これはなくてもいいんですけどね。ありがとうございます。
50 ページですが、総合評価の必要性が4から3、効率性が3から2、達成度も3から2、事業実績がなかったためにこうなったんでしょうか。
必要に応じて改修が行われていて、令和5年度は特になかったということで。

【藤原社会教育課長】

こちらについては、先ほどの公民館と一緒に施設の面で評価をさせていただいております。スポーツ施設の整備のところで、整備というか主に先ほどの公民館と一緒に維持管理の面からしますと、課題や今後の方針のところにも書いてあるんですが、老朽化した施設の改善した施設の改修も財源の確保、課題であるというところで、これからの改修維持管理のところで、財源の問題、コスト縮減についてはちょっと厳しくなるかなというところではあります。

【重清委員】

そうですね。コストとかそういったことはすごく厳しく考えられてると。

【藤原社会教育課長】

先ほどのイベント系、建物の維持管理については、コストを下げることによって利用者に対しての安全面とか、利便性というところでの評価も下がってきますので、なかなかここを下げることはできない。そこについては、お金の財源の問題もあってなかなか改修もはかどらないというところもあってちょっとジレンマがあるところではあります。

【重清委員】

難しいところですけど、やっぱり安全面を最優先していただきたいと思います。ありがとうございます。59 ページ。AからBに下がっております。

事業実績で、藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業として、おもてなし料理を再現とあり、2市1町が担当とあります。これはどこで行われたのですか。

参加者は、何人とかわかりますでしょうか。

【藤原社会教育課長】

阿波市、美馬市、石井町の担当者など、8名が参加しました。

【重清委員】

阿波市、美馬市、石井町が担当したということはどこでされたのですか。

【藤原社会教育課長】

先ほど申しました8名の方が、藍住町の民間の料理屋さんで試食会を行いました。

【重清委員】

文化財保護者審議会は、前回よりは2回減っているっていう形で、これ評価が4から3に下がって、AからBになっておりますが、2市1町が担当して、こういったことをされるっていうのはいいことだと思いますし。評価としてはいいように思うんですけど。難しいですか。

【藤原社会教育課長】

そうですね。こちらの事業についても、ここの町以外にも徳島市、藍住町、上板町とも入っております、今回の藍商人のおもてなし料理については阿波市、美馬市、石井町が担当して行ったということです。

【重清委員】

ありがとうございます。すいません。

こういったことは、いろいろな方面で続いていくということでしょうね。

【藤原社会教育課長】

はい。これはなかなか難しい課題で、担当の方はどういうふうにしてこの藍の魅力発信について、事業を展開していこうかというところを今考えているところです。

毎年市役所1階の情報スペースでパネル展とかの展示をしているのですが、それにプラスアルファして、また魅力発信というところでの、何かをちょっと考えていかないとい

かなというのは思っております。

【重清委員】

いろいろな興味や関心を皆さんが持っていただけるということが大事ですね。
皆さんが参加していただくということが大切ですね。文化財の 60 ページから 61, 62 ページ。すべて A から B になっているんですけど、そういった部分もやっぱり厳しめに。

【藤原社会教育課長】

そうですね。去年まで評価も高かったのも、それに甘んじることなく、来年度以降も、何かしらのイベントができたらかとか、事業の展開について担当者とも協議をしているところです。

【重清委員】

ありがとうございました。やっぱり A で安心することなく、厳しく見つめて B にですね。A に近い B というか。

【藤原社会教育課長】

これからまた A に持ち上げて、それで、また同じような状態であれば、下げてもいいのかなと思ったんですけども。

【重清委員】

全体的に A の数、B の数っていうんじゃなくてやっぱり A に近い B というか。各事業ごとに現状に満足せず厳しく見つめさらに努力され評価を上げていくようにされているということですね。65 ページは B から A になっております。すべての小・中学校において環境美化活動が実践されていて、A になってよかったなと思っております。これも継続していただきたいなと思います。68 ページなんですけれども、親子講座で、韓国料理ということが新しくあり、参加人数 20 人。家族で体験できる講座で大変良いと思いました。家庭教育の重要性に繋がる取り組みだと思っておりますので、今後もこういった家族で取り組めるような講座があればと思います。よろしくお願いします。

指標一覧ですが、英語の授業の好きな児童の割合が、令和 1 年では 91%、令和 4 年は 87%、令和 5 年で 73% と、どんどん下がってきておりますが、中学校へつなげていくため英語活動が教科になったことが要因でしょうか。文法とか書くといったことが加わってきますので、楽しく英語活動をするというよりは、少しずつ読み書きといったものが入ってくるので、難しさを感じているからでしょうか。

【山田学校教育課長】

楽しくなくなってきたのかもしれないですけど、ちょっと難しくなってきたのかなと。

【重清委員】

学校訪問で見せていただく限りは子どもたちが本当に主体的に英語を楽しんで学んでいます。我々としてはALTの先生も英語講師の先生も力を入れてくださり、子どもたちが楽しんで、表情豊かに積極的に前で発表できているところは素晴らしいと思います。それが教科という形になった場合、難しさを感じる児童がいるということですね、できるだけ楽しい方面で続けていって、中学校につなげていっていただけたらありがたいと思います。子どもの体力アップ事業の小学校5年生の肥満割合が昨年よりかなりびっくりしたのですが、上がっております。去年の子がこうなったわけではないので、学年によってというのもあると思いますし、このまま肥満度が上がったままずっといくわけではないと思います。前回、昨年でしょうか小学校から中学校までの肥満割合のグラフを見せていただきました。成長期に肥満があっても中学校になったらちょっと下がってきたというところもありましたので、今後ともご家庭と協力しながら、少しずつ肥満度を下げていくような方向で頑張っていただけたらと思います。1つ1つの事業の実施は市民の皆様の健康的で活気ある生活、幼児、児童生徒の皆さんの安心安全な学校生活、学びを大切にした支援として、学力向上推進講師、英語講師、ALT、ICT研究員、支援員の方々による手厚い教育の場があり、地域の方々のご協力をいただきながら、教育委員会の各課、各事業の担当の方々の細心の努力により行われております。学識経験者の先生方からも、1つ1つの事業において課題とするところは、適切なご助言をいただきながら、今後に期待していただける高い評価をいただき、心より感謝申し上げます。今後も実りある事業となりますよう、よろしくお願いいたします。私の方からは以上でございます。

【森本委員】

まず学識経験者の方々のコメントにある通り、非常にコツコツと、積み重ねて、前に推進してるんかなっていう気はいたします。今お話聞いていると、非常に皆様の自分に厳しく、評価点もつけられているので、何ら問題はないのかなと思います。あとちょっとご質問というか、お伺いしたいところが、何点かございます。まず12ページのところです。健やかな体の育成ということで、薬物乱用教室ってここに書いてるんですけども、こういうのって、どの程度やっているものですか、その講師というか。

【三宅教育次長】

薬物乱用防止教室は、小学校6年生を対象に、毎年1回、すべての学校で実施をしてお

ります。

【森本委員】

最近、インターネットで買えたり、厚労省や文科省で見たらもう3%ぐらいの人が何らかで勧められたっていうアンケートもあるぐらいなので、大学生でもよく大麻とか、低年齢化っていうのが進んでいるので、これは引き続き力入れてやっていただければなというふうに思います。あと肥満のところは、さっきお伺いしたので、引き続き啓発するしかないのかなと思っております。あとですね。17ページのところで、ICTなんですが、もう皆様ご存じだと思うんですけど、私の子どものところでも使えないっていうのが非常に多くて、令和7年度に入れ替えていっているところがあるんですよね。それって、もう入札とかそういうので決めていくっていう感じになっているのですか。

【山田学校教育課長】

県で共同調達。

【森本委員】

県の薦めというか。それで今の銘柄になってるんですよね。

できれば、現場の先生たちが、使うことが一番で、使えないっていうのになると、そこで一旦進んでいると思ったものがストップしてしまう可能性があるんで、現場の先生の意見とかっていうのは、取り入れられてるものなんじゃないでしょうか。それも含めて県が決めてるんですか。

【三宅教育次長】

1学期に、新しいOSをどれにするかということで、現在の管理職、それと情報の担当に集まっていたいて、この市役所の大会議室の方で、業者の方から説明をしていただいて、それも反映しながら決めていきます。アプリケーションにつきましては、こちらからの提案はするんですけども、現場の意向や使いやすさっていうのを重視して、授業に役立つような、子どもたちの学力に繋がるようなアプリを、相談しながら、進めていくと思います。

【森本委員】

そのアプリというよりもその性能、今回のパソコンに関しては、メーカーさんの方で、やっぱりなかなか不具合を多く起こってしまって、取りかえる可能性があるということですが、同じメーカーになる可能性があるのですか。

【三宅教育次長】

メーカーについては先ほどお話にあった、県と共同になるということですが、今現在では、別のOSっていうふうなところで進んでいると聞いております。

【森本委員】

わかりました。ありがとうございます。

【高田教育長】

前は共同調達でおそらく、1社、ぐらいいしか、まとまって、出してなかったと思います。今回は、県でお世話してくださっている、共同調達も以前の反省から、希望するOSが3つぐらいと思うんですけど、それぞれ市町村の希望とかに応じて、共同調査をしていただけたと思っています。

【森本委員】

変わってしまうのは非常に残念なので。

【高田教育長】

うちも正直言うて、故障は少なかったんですが、夏過ぎたあたりから、バッテリーの膨張等含めて、出てきております。だから、来年度の早い段階で、いち早く手を上げるようにしたいと思います。

【森本委員】

ありがとうございました。

それと、29ページのところなんですけど、防災教育の充実っていうところに、昨今、ニュースとかいろいろ出てまして、防災っていうのが非常に重要なんですけども、教育や学識経験者の方とも言ってたんですけども、避難場所になってところのエアコン、費用とか経費とか、かなり難しいと思うんですけども。体育館のエアコンの設置っていうのは、今後いろいろあるのでしょうか。

【酒巻教育次長】

今後検討していかなければならないとは思ってるんですけど。

【森本委員】

全部、避難場所ですかね。

【酒巻教育次長】

はい。今現在ついているのが、阿波中学校だけというところもありまして。

【森本委員】

なかなか一気に難しいそうですね。

やっぱり夏場になったら熱中症とかの二次被害とかもありますよね。

多分そのようなことが起こってしまったら、何しよんやって話になるかもしれないので、引き続き、検討していただけたらありがたいかなというふうに思います。あと 31 ページのところで、小中高の連携っていうところなんですけど、これはもうちょっと夏休み、子どもと体験したことなんですけど、大学の生物で、卵からどうやって細胞が分裂していくんだっていうパンフレットを実は小学校の方でいただきまして、徳島大学の方に行ってきたんです。それがものすごく良くて、大人の知的好奇心も非常に満足、刺激していただくようなものだったので、そういった、せっかく徳島大学っていう大学もあったり、どこかのNPOと共同してやった事業なんですけれども、そういったものに関して、小中高だけではなくて、大学とかそういったところも含めての案内とかPRとか、そういうのもやっていただけたら、子を持つ親としては非常にありがたいと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。すいません、感想とお願いで申し訳なかったんですけれども、私の方からは以上です。ありがとうございました。

【細川委員】

感想だけになりますが、どうぞよろしくお願いします。

令和3年度からスタートした、阿波市第2次教育振興計画（前期計画）は令和5年で3年が迎えると言うことで、報告書を見させていただきました。

令和5年度は、コロナも第5類となり、各学校や社会教育施設において、コロナ禍前の行事や取り組みが行われ始めたように思います。昨年、教育委員となり、初めて学校訪問に参加させてもらったり、あわつ子スクールへの見学や市人権教育研究会にも参加させてもらうことができました。どの学校も空調設備が整い、ICT機器も充実して、先生方の指導により子どもたちがタブレットを使って、主体的に学習している様子を見ることができました。ありがとうございました。昨年のことを思い出しながら、令和5年度の点検及び評価の報告書を見させていただきました。74事業それぞれPDCAサイクルで評価して、課題を洗い出し、課題解決に向けて今後の方針を示していて、丁寧に事業評価ができていたと感じました。74事業のうち、総合評価でA評価が13、B評価が61と言うことで、昨年と数の増減はありますけれども、C、D評価はなしとなっています。74全ての事業において成果が上がっているという評価で、教育総務課、学校教育課、社会教育課、給食センターの真摯な取り組みの成果だと思います。大変ありがたいと思っています。また、事業の方向性については重点化1、見直し2、継続71となっています。さらに重点化するという事業が、安全安心な教育環境づくりで、子どもたちが安全に登下校したり、学校で安全に生活できることは本当に最重要課題だと思います。各学校ののぼりや横断幕で安全を呼びかけたり、道路の表示を工夫したり、歩道が

広くなったりと警察や補導センターなど関係機関が連携して取り組んでいる様子がよくわかります。

見直しの2つの事業ですが、1つは教育施設の整備で、もうエアコンの設置が特別教室も含めてすべて、整ったということで、本当に素晴らしいことで、計画的に設置いただきありがたく思っています。今後は、維持管理、メンテナンスの方向へ見直すということなので、各学校の要望や先生方の要望を聞いて意見を吸い上げていただけたらと思います。もう1つの見直しが、青少年の健全育成の推進で、市内の中学校を対象とした講演会の開催ですが、昨年の会議の時に毎年1校ですかと質問したときに、社会教育課の事業では補助金の関係で1校だが、人権課の事業で4校開催しているという回答を頂きました。

それからA3の業績評価指標一覧表についてですけれども、皆さんの意見とちょっと重なるかもわかりませんが、まず一番上にある学校教育に対する満足度で小学校保護者、中学校保護者とも80%を超え、特に中学校の保護者の満足度が86.9%と目標値を大きく上回っています。学校や先生方の取り組みや教育委員会、地域の方の連携努力によるものと思います。また、情報教育の推進で、学校訪問時もICTの活用の様子を見せてもらいましたが、先生方や市のICT支援員の方の協力により時間数が伸びています。先ほど森本委員さんもおっしゃっていましたが、タブレットの入れ替えに向けて調査研究を進めさせていただけたらと思います。生涯学習の推進ということで、生涯学習講座、登録者数とも増えています。今後とも新しい講座の開設やACN、広報誌での周知によりさらに増えることを期待しています。小学校英語活動事業の、英語の授業が好きな児童の割合の低下、子どもの体力アップ事業で肥満傾向児童の割合が気になります。5、6年生の英語の教科化も子どもの意識の変化にあるのでしょうか。

肥満傾向については、コロナ禍での行動制限や行事の自粛などが影響しているのかもわかりませんが、子育て支援課や健康推進課、また給食センターなど色々な機関が連携して取り組んでいただけたらと思います。思いつくままですけれども、意見を述べさせていただきましたが、今後とも学び合う深みを高め合う阿波市教育実現のため、各事業の着実な推進をよろしく願います。以上です。ありがとうございました。

【森委員】

私も、Aが減って、なぜなんだろうっていうふうに思いましたが、今までお話を聞いていて、現状、向上させるために厳しく評価しているっていうのがよくわかりました。姿勢が素晴らしいと思います。感想と教えていただきたいことが幾つかありますので、よろしく願います。重清委員さん、細川委員さんもおっしゃっていましたが、私も先ほどから出ている英語の「指標」のことで、学校訪問させていただいたときにも、子どもたちが非常に楽しくしているのですが、小学校英語活動事業の指標で英語の好きな割合が、令和4年が87%、令和5年が73%、そして中学校の方が、英検受検割合が、

令和4年が23.6%で、5年が19.8%と減少しているのが、これだけ一生懸命なのに、なぜなんだろうかなっていうことで、気になりましたので、もし何か把握してることがあれば、教えていただけたらと思うんですが。特にはないですか。力を入れています、正しい結果が、出ているかなっていう。何かありましたら教えてください。

【山田学校教育課長】

特に把握はできておりませんが、小学校では英語に慣れ親しむ楽しい授業であった英語の授業が、中学校になると文法や単語など覚えることが増え、難しく感じられるのだと思います。

【森委員】

それでは13ページ、17ページで、ICTのことが、指導力向上や、ICTの推進で、書かれていますが、先ほど細川委員さんのお話にもありましたが、小中保護者の学校教育に対する満足度はとても高く、ICTを活用した授業時数も、増加しています。

学校訪問、今年行かしていただきましたが、子どもたちのICT活用レベルが非常に向上しているのが、よくわかりました。今後もこのまま取り組みを続けてほしいと思いました。それから、16ページの、食育の地産地消の点ですが、地産地消率が令和3年は61.2%、令和4年は66.6%と、令和5年が67.7%と、どんどん向上しているというのが、本当に素晴らしい成果だなと思いました。

それから、19ページの就学援助の実施のことですが、教育委員会の定例会のたびに、状況を教えていただいて、本当に手厚い支援がされているんだなということが、よくわかりました。今後もよろしくお願いいたします。

20ページのキャリア教育の推進ですが、学校訪問すると、将来の夢を書いた掲示物が、何校かで掲示されているのが、ありました。体育館いっぱいに掲示されている学校もあったんですが、キャリア教育に力を入れていただいて、ポートフォリオがちゃんと作成されているんだなということが、わかりました。今後も取り組みを続けてほしいなと思っています。21ページの学校、家庭、地域と連携した、取り組みなんですが、学校支援ボランティアが令和4年は49%、令和5年が67%と増加しています。学校訪問でも、校長先生方から取り組みの話をよく聞きました。地域との連携がうまくいっているのがよくわかりました。数値にも現れているのかなっていうふうに思っています。

23ページの教育支援センターの運営ですが、昨年秋に実際に様子も見せて頂きました。スクールカウンセラーが、3名、そして合計月10回、大学院生のボランティア8名、先ほど重清委員さんもお話されていましたが、令和4年よりかなり、充実していると思っています。保護者の拠り所となっているようですし、子どもたちが安心していける場所となっていると思います。この有効性は十分で、と言う部分で、私は総合評価については、Aでもいいんじゃないかなと、思いました。厳しくしていると思うのです

が。それから、30 ページの、安全教育の充実の件ですが。先ほど細川委員さんもおっしゃっていましたが、通学路の安全点検というのは、確か十数年前から継続して行われていると思います。私が、勤務した校区でも、もう10年以上前から危険で、対応してきた場所もありましたが、たまたま通ってみると、前よりもこの場所良くなっているということで、ここまで改善されるんだなということもありますので、その取り組みというのはやっぱり子どもたちの安全のために、続けて欲しいなと思いました。

39 ページ。図書館指定管理者制度による効率的な運営ということで、そのモニタリングと言うのは、何をどのようにして、結果がどうなっているんだろうというようなことを疑問に思いますので教えていただけたらと思うんですが。

【藤原社会教育課長】

こちらにつきましては、指定管理の方に事業を委託して運営していただいておりますので、年に1回、指定管理者の評価というのを、今年の8月6日に、市の方で指定管理者評価委員会というのが開かれまして、その中で、運営とか、サービスとか、人事面とか、業者の財務状況とかについて、調べて、適切な運営ができているのか、財政面でも問題がないかっていうのを、担当の方で調べて報告をさせていただいております。その報告の中でも、概ね高評価を出しているところでございます。

【森委員】

評価委員さんが集まって。

【藤原社会教育課長】

報告は、副市長、理事、各部長が、その評価報告を見て、何か気になるところがあったら質問したりとか評価については担当の方で評価するんですけども、それについてのQ&Aを行っております。

【森委員】

わかりました。ありがとうございます。45 ページの生涯学習プログラムですが本当に去年も思いましたが、講座生登録者数ともに、令和元年からずっと増加して、目標を超えていますし、本当に充実した取り組みが続けられていると思いましたが。これもやはり厳しい評価をされているんだなあと感じています。

47 ページの、市民の健康体力づくりの件ですが、阿波シティマラソンの市内参加者も増えていきますし、スポーツ推進委員派遣回数も増えていきますし、コロナ終了で、どんどん成果が上がっているんだなというふうに感じます。

それから、53 ページ。幅広いスポーツ活動の普及促進ということで、行事の見直し改善をされるということですが、全体的に指標を見たときに、スポーツ関係の評価が低いよ

うに思いました。市民からの要望の多いスポーツの拡充をするということですので、全く私の思いつきで、考えが間違っているのかもわかりませんが、市民の皆さんは、先ほどの45ページの生涯学習プログラムで出てきたような、スローエアロビックとか、朝活ストレッチとか、太極拳のような緩やかな運動を求めている方も多いのではないかなと。このような講座も、スポーツとしてとらえていくのは、可能なのでしょうか、っていうことをちょっと思いました。

【藤原社会教育課長】

生涯学習プログラムの一つとして、現在は捉えて評価しています。

【森委員】

運動ととらえたら。高齢になってくるとそういうような運動があれば。

【藤原社会教育課長】

委員がおっしゃるこの45ページのプログラムの中でも、カーディオキックという講座があるんですけど、こちらについては、まさしくその脂肪燃焼系のエクササイズで音楽に合わせてパンチやキックをしたりする講座があります。中には、スロー的なものもあったり、ちょっとハードな講座もあるんですけども、分野についてはまた考えて。

【森委員】

ふと思いついただけで、そういう運動があれば、私らもいけるかなというようなことです。

【藤原社会教育課長】

こちら、小学生のイベントですが参加していただいても大丈夫ですので。ちなみに去年は、そうですね、カーディオキックについては、定員が20人について申し込みが10人、これちょっと定員割れしてる部分もありますんで、もしよければ。

【森委員】

そういうのもスポーツでいいのではないかと思います。思いつきですみません。73ページの青少年の体験交流活動の充実と言うことですが、体験事業の参加者が増加していますので、成果が上がっているんだなあというふうに思いますが、ちょっと疑問に思ったのが、成果指標の中の、5-3、青少年体験交流活動の充実のところで見てみると、令和元年度は425、目標も520なんですけど、その間にあるこの数値が、令和4年が確か90だったと思いますし、5年は125で、逆に、令和元年は何でこんなに多いんだろうかと。

【藤原社会教育課長】

こちらにつきまして、木工教室なんですけれども。

当時は、各4中学校を拠点に行っていたところです。途中から、アエルワで1カ所で行っていると言うところです。

【森委員】

その時の数値で目標も決めてたのですね。今は会場が減っていると。

【藤原社会教育課長】

そうですね。1カ所に集約したということです。

【森委員】

はい。わかりました。ありがとうございます。

最後81ページの英会話教室ですが。開催数が大幅に増加して、参加者も増加していますので、受講生が固定化の傾向があるという課題があるようですが、市民のニーズは本
当に高いと思いますので、私はいい成果が出ているんでないかなあと思いました。

以上です。

【曾川委員】

今年初めて、教育委員のお仕事をさせていただいて、この報告書を見せていただきました。阿波市の第2次教育振興計画で作成した74事業、それに対して1つ1つの目標を、具体的な施策とか実施報告、実施状況等、報告されていて、非常に見やすい報告書だと思います。幅広い視点で、教育を支えているのだなと、改めて感じました。ありがとうございます。これまでの委員さんが言われてきたことと重なることもありますが、少し感想を述べさせていただきます。阿波市は、食育を基盤とした地、徳、体の調和のとれた生き抜く力の育成ということで、そこを主眼にして、行っているのが、食育の部分で、非常に食の部分で、16ページの、成果のところでも大変充実して進めてくださっているなというのを感じました。評価も非常に高評価です。阿波市は、前から地産地消、阿波市の農業で作られたものを子どもたちにしっかりと、食を提供するだけじゃなしに知ってもらおうとか、様々な取り組みをされていて、これが続けられているのが素晴らしいことだなと思いました。それと、阿波市の教育が特色ある学力向上の施策としましては、非常に英語教育に力を入れているっていう部分で、ALTの配置であるとか、子どもたちが英語に親しめるような環境整備にも力を入れて整えてくださっているなというのを感じています。子どもたちの英語の力をつけている成果が上がっているのが、10ページの評価のところでも、わかると思いました。ただ、その評価が上がっている反面、業績評価資料一覧の方では、英語の好きな児童の割合が、2年度から、減って

います。内容的に難しくなったことの段差が、子どもたちがこれまで楽しかったのに、難しいとか面白くないと感じているのかなと思うのですが、やはりせっかく力を入れてやってきてるところ子どもたちがずっと英語に親しんで、力をつけていけるような工夫をお願いできたらなと思いました。

英語以外の学力向上の推進講師を配置したりして、他の機能の向上、それから、特別支援教育が必要な子どもたちがたくさん増えているような状況があると思いますので、その英語以外の教育に対する施策がここには見えないかなと思います。10 ページのその評価のところ、学力向上推進講師の阿波市独自の取組であり、十分な成果が出ていると二次評価で書かれていますので、しっかりその部分も、学力向上の部分で反映できたらと思いました。この間、全国学力テストの結果が、公表されておりましたね。徳島県ずいぶん上がっているっていう成果があって、阿波市どうなんだろうなと思ったところではありますが。子どもたちの力をつけていただいている先生には大変ありがたいと思っています。それと、これは何人かの委員の先生方も言われてましたが、保護者さんの学校教育に対する満足度、これが非常にアップしています。全国的なニュースとか見ておりましたら、保護者さんの視点で学校教育に対して厳しいなという部分が、あるように私は感じているのですが、阿波市に限っては、中学校の親御さんが非常に満足しているという結果を見て、やはり、学校教育の中の先生方のご努力とか、またそういう環境を整えてくださっているすべての施策が機能しているんだなと思い、非常にうれしく思いました。こういう教育の成果というのは、学校教育行政とその学校現場と、あと本当に家庭の力が、がっちりと合わさって成果が上がっていくものであると思いますので、保護者さんの信頼を得ている阿波市の教育が非常に心強く思いました。

気になるところは、非常に昨年度の肥満度の高さが大きい。これも学年によって違いがあったりするので、一概に言えないとは思いますが、やはり家庭の基本的な生活習慣の意識の問題が影響すると思いますし、その食育という部分も関係しますし、そういった、家庭の教育とか、保護者の意識を高めていくというような取り組みも必要なのかなと思いました。あと、今の時代、ICTの活用は外せない課題であると思います。

阿波市も非常にその部分、力を入れていただいて、子どもたちがスムーズにICTを活用して楽しくわかる授業が展開できるようにということで、取り組んでいただけていると思って、大変ありがたいと思っています。その部分、十分できているというところではありますが、少し気になったのが、そういう環境とかを整えて、まず、ICTの機器を活用してできるようにはなっている情報モラルの面ですね。SNSにかかわる大きな問題が起きているニュースとか見聞します。子どもたちにその部分をしっかりと教えていかなければいけないかなというのを思っておりまして、そういう中身的な部分でも、工夫をして、子どもたちが本来の形で力をつけてくれたらありがたいなと思います。少し気になったのが、教員の働き方改革の部分です。14 ページに、業務システムを導入して、教職員が出退勤を入力することで、どの程度教職員が残業しているか把握で

きると言うことで、私は詳しく知らなかったのでこういうことができているということを知り、ありがたいなと思いました。学校現場って非常に忙しいというのがやっぱり今でも続いているんだなあということに対して、長時間勤務の職員が多いということが今後の課題としてあげられております。それぞれ働き方改革変形労働時間制導入とかもありますので、教育委員会で工夫の余地がまだまだありますでしょうか。そのあたりを、今後とも考えていただけたらと思っております。今回、報告書を見せていただいて、阿波市の教育が広い視野で教育全体を支え、進めていることが非常にわかる報告書であると思います。今後とも良い施策を進めていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【高田教育長】

その他特にございませんか。

【重清委員】

一覧表の、先ほど森先生がおっしゃった5－3ですけど。

この目標値っていうのは、4か所から1か所、になったのであれば、520人は多いのではないのでしょうか。昨年より今年度が90人から、森先生がおっしゃったように125人にこう上がってきているということは出席率は増えています。ご検討いただければと思います。

【藤原社会教育課長】

来年度、調整させていただきます。

【高田教育長】 よろしいですか。

それでは、議案第1号については承認いたします。

議案第2号 「令和6年度阿波市一般会計補正予算（第5号）教育委員会所管部分について」

議案第3号 「準要保護の認定について」

【高田教育長】 次に、議案第2号につきましては、令和6年第3回阿波市議会定例会に提案予定の案件となります。また、議案第3号につきましては、個人情報が含まれる内容となりますので、会議規則第17条の規定により秘密会とし、非公開としてよろしいか。

【各委員】 異議なし。

【高田教育長】 異議なしと認め、議案第2号及び第3号は秘密会とし、非公開といたします。

〈秘密会〉

【高田教育長】秘密会を解きます。

議案第4号 「阿波市通学用かばん納入業者選定委員会設置要綱の制定について」（追加議案）

【山田学校教育課長】追加議案をお願いします。

【高田教育長】ただいま配付いたしましたとおり、追加議案が1件提出されました。お諮りいたします。直ちに議題としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】ご異議ございませんのでそのように決定し、議案第4号として議題といたします。それでは事務局より説明をお願いいたします。

【山田学校教育課長】「阿波市通学用かばん納入業者選定委員会設置要綱の制定について」説明。

【高田教育長】ただ今の議案第4号についてご質問等ございませんでしょうか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは、お諮りいたします。議案第4号「阿波市通学用かばん納入業者選定委員会設置要綱の制定について」は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】それでは、異議なしと認め、議案第4号は原案のとおり決定されました。以上で本定例会に付議された議案はすべて終了しました。そのほかございませんか。それでは、以上をもちまして、令和6年度第5回阿波市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和6年8月26日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐